

血府逐瘀湯加水蛭の 使用経験

～アトピー性皮膚炎による苔癬化からの脱出を目指して～

臨床 § 方 劑

峯 尚志



陳旧性アトピーの最終型

- アトピー性皮膚炎の罹患が年余にわたり、発赤、浸出液を繰り返し、次第に皮膚が赤黒く色素沈着をおこし、強皮症のように皮膚の苔癬化が激しく、象の皮膚のように分厚い皮膚になる病態がある。このような病態を呈した症例に、漢方治療をおこない良好な経過を得たので、考察とともに症例を提示する。



アトピー性皮膚炎の病期を 火山活動にたとえる



1. 炎症の強い時期



- アレルギー性の炎症によって皮膚はただれ
バリア機能が破綻し、アレルゲンが用意に真皮
皮に到達し、浸出液をともなった赤い皮膚となる。



2. 慢性期



- 寛解と増悪を繰り返し、苔癬化が進む



3. 荒廃期



- 皮膚は分厚く肥厚し、どす黒く変色する。荒廃したように見えるがなおも真皮下には炎症の火種は残っている



苔癬化した皮膚と血府逐瘀湯

- 荒廃期の皮膚の状態に対して血府逐瘀湯加減を長年使用してきて一定の効果を上げている。長く服用することによって、皮膚のざらつきが改善し、皮膚の色調が明るくなる。しかしその改善には年単位の長い時間を用し、なおかつ限界がある。



血府逐瘀湯 (清代 王清任 医林改錯)

疏肝

柴胡

枳殼

甘草

桔梗

補血

當歸

芍藥

川芎

地黃

活血

桃仁

紅花

牛膝

効能) 活血祛瘀、行氣止痛
主治) 胸中血瘀、血行不暢



血府逐瘀湯加減を陳旧性アレルギー性皮膚炎に使用する理由

- 苔癬化し分厚くなった皮膚は瘀血が関与し、君薬である桃仁、紅花の出番であるが、同時に皮膚は乾燥し潤いを失っており、四物湯の補血養血作用で皮膚に栄養を当てることが不可欠である。桔梗は上に牛膝は下に薬力を全身に運ぶ作用が期待されている。
- アレルギー性皮膚炎は憎悪因子としてのストレスの関与が顕著で、疏肝理気の上逆散を加えることで、ストレスを緩和すると同時に横隔膜の緊張をゆるめ、血の栄養作用を全身に届かせる。



加味方

- これらの方剤は皮膚の炎症に対しては消炎効果が弱く、くすぶる炎症に対して山梔子、地骨皮などの清虚熱薬を、炎症が強い場合には黄芩、黄連、連翹、忍冬などの清熱解毒薬を加える
- 涼性の牡丹皮は駆瘀血と同時に涼血作用もあり血の熱を緩和する
- 薏苡仁は薬性微甘で脾陰を補い、健脾補肺し、清熱排膿、美肌の効果を期待して使用する
- 気虚の強い症例では人參、黄耆を加える



陳旧性の瘀血を治す

- 苔癬化した皮膚は東洋医学的には瘀血ととらえられることが多い
- 今回血府逐瘀湯加減に水蛭を加え、皮膚の厚みが顕著に減少し、硬い皮膚が柔らかくなり、どす黒い皮膚がピンク色になり、血管が透けてみえるようになり、劇的に改善した症例を経験したので、報告する



症例 55才女性

【病名】

アトピー性皮膚炎、日光過敏症

【現病歴】

幼少時より全身のアトピー性皮膚炎に悩んでいる。疲れやすく、手足がだるく動きづらい。2月ごろより指先が荒れ、腕に熱をもっている。首、デコルテ、背中のかゆみがひどい。日光に過敏で、サングラスがはずせない。外出するととても疲れる。紫外線にあたると3時間は起き上がれない。ひどいときは頭痛と嘔吐。嘔吐したら10時間動けなくなる。漢方治療を希望してX年11月当院を受診する。



現症

- 身長162cm、体重58kg
- 全身の皮膚が苔癬化して分厚く、どす黒い。疲れやすく知的レベルは正常だが、応答に時間がかかり、ボーとした感じで会話が成り立ちにくい
- 脈は沈細澁。舌は紅色で小さい。舌下静脈の瘀血は目立たない。腹部は乾燥し、ざらざらと分厚く、黒く、全体にやわらかい。両側に軽い胸脇苦満を認める
- 採血ではIgE1972 好酸球10.3%,TARC2243と高値のほか特記所見なし
- 皮膚筋炎の自己抗体陰性
- 以上の経過より肝気郁結、血虚、瘀血、気虚として血府逐瘀湯加減の処方を選択する



処方

- 柴胡 3、枳実 5、当帰 8、川芎 4、芍薬 6、地黄 6、桃仁 3、紅花 3、牛膝 6、桔梗 3、甘草 2
(血府逐瘀湯)
- 人参 3、黄耆 12、黄芩 3、牡丹皮 3、防風 3、蝉退 6、薏苡仁 12、麦門冬 12、黄柏 2、麻子仁 6、大黄 0.7、芒硝 0.7



経過 3ヶ月後

- 皮膚のごわごわした感じがよくなった
- 首、デコルテ、腕のかゆみ改善
- 疲れやすさが改善
- 皮膚が滑らかに軟らかくなるが、依然として色は黒く分厚い
- 水蛭 1 g を煎内に追加する



水蛭を加えて3ヶ月後

- 苔癬化が改善、皮膚の皮がさらに薄く柔らかくなった
- どす黒かった肌の色がピンク色になり、腕の血管が透けて見えるようになった
- 紫外線にあたってても寝込まなくなり、乗馬を始めた
- 頭のボーとした感じが改善し、会話がスムーズになった
- IgE(1971→1381)、好酸球(10.3→2.7)
TARC (2243→608) と改善した



苔癬化がとれて透き通った皮膚



水蛭（すいてつ）

基原）ヒルド科のウマビル、チャイロビル、チスイビルの全虫体

性味） 鹹、苦、平、有毒 帰経） 肝

効能と応用）破血逐瘀、消癥

血瘀による無月経、膀胱内腫瘤などに桃仁、しゃ虫、三稜、我朮、大黄などと用いる

（方剤例 抵当湯、大黄しゃ虫丸）

打撲外傷の腫脹、疼痛に牽牛子大黄などと使用する。（方剤例 奪命散）

生きた水蛭を外用し吸血させると、癰腫（皮膚化膿症）、丹毒に有効である

薬理）ヒルの唾液にはヒルジンといわれる抗凝固物質が含まれ、フィブリノーゲンに対するトロンビンの作用を阻止する。また水蛭にはヒスタミン様物質やヘパリンなども含まれる



本草書にみる水蛭



- 「本経」悪血瘀血、月閉を遂い血癥積聚を破り子を無からしめ水道を利す
- 「別録」胎を墜す
- 「薬性」女子月閉して血勞と成らんと欲するを治す
- 「本草拾遺」赤白遊疹及び癰腫毒腫をくろう
- 「本草衍義」折傷墜撲、畜血を治す

陳久性なるには廔虫、水蛭、虻虫、乾漆を配せる方剤あり



水蛭加味の意味

現代医療において抗凝固療法の応用は長足に進歩したが、いったん形成された病理物質を流し去るのは容易ではない。水蛭には凝固を阻害する作用とともに、さらに循環障害によって蓄積した病理物質を取り除く作用があると考えられる。



ヒスタミン様物質の 免疫誘導の可能性

- ヒルの唾液にはヒルジンといわれる抗凝固物質が含まれ、フィブリノーゲンに対するトロンビンの作用を阻止する。また水蛭にはヒスタミン様物質やヘパリンなども含まれる。
- ヒスタミン様物質は仮性アレルゲンになりうる。それにもかかわらず、本症例で好酸球やTARCの低下が見られることは水蛭の成分がスギ花粉やダニの舌下免疫療法と同じように免疫調整機能が働いている可能性も考えられる。



陳旧性瘀血と動物性生薬

水蛭



庶虫



蟾蜍

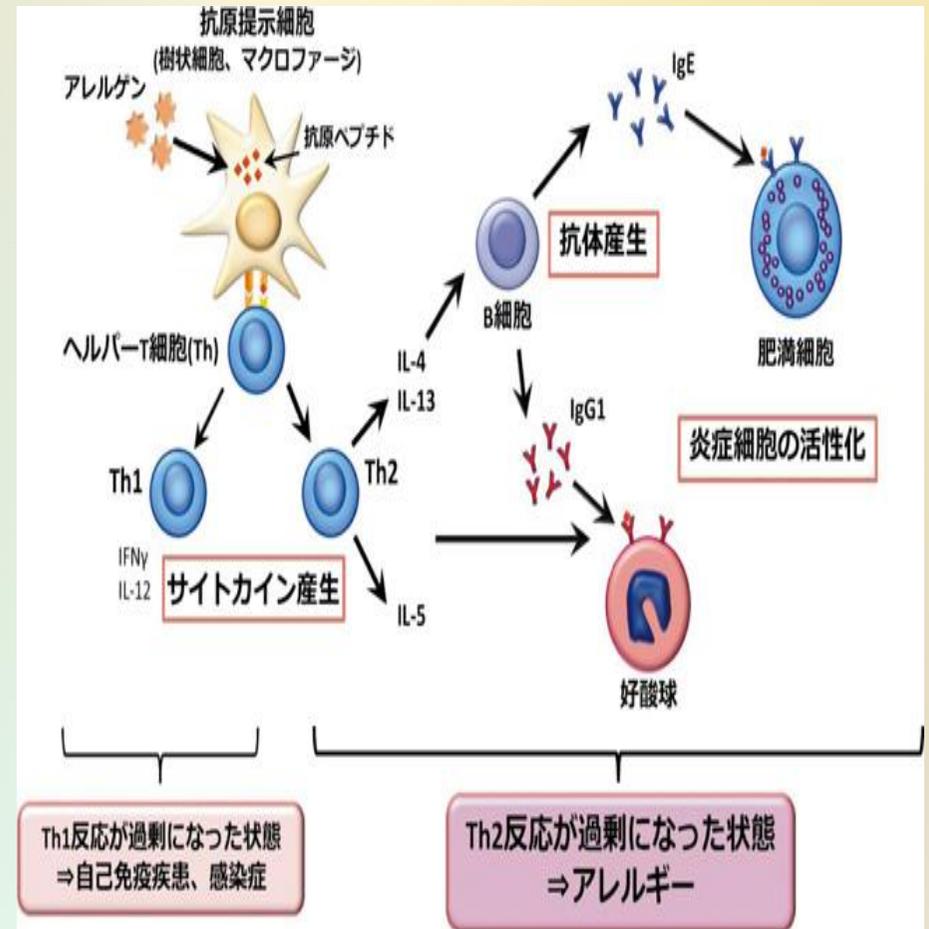


虻虫



ゲテモノがアレルギーを治す

近年増加しているアレルギー性疾患について「衛生仮説」がいわれて久しい。また寄生虫を体内に「飼う」ことでアレルギーの軽減も報告されている。動物性生薬はその薬効とともに、その成分自体が植物以上に異物としての免疫誘導を積極的に引き起こし、制御性T細胞を増やしたり、腸内細菌やTh2、Th1細胞バランスを変化させるのではないだろうか。



ゲテモノの使い方



- 寄生虫は「生きている」ことによって恒常的な免疫反応を引き起こすが、「死んでいる」動物性生薬は、引き続き内服することによって脱感作療法の側面を持つのではないかと思われる。医療用漢方製剤においてアトピー性皮膚炎に用いられる蝉退の止痒効果についても、「よけいにかゆくなる」といった報告もあるが、脱感作療法のようにその量を加減し、少量から増量してゆくといった方法も考慮すべきと考えている。



認知機能の改善について

- 本例においてもうひとつ特記すべきは認知機能の改善である。
- 血府逐瘀湯加減の処方により、頭のもやもや感がなくなり、受け答えもはっきりでき、意思の疎通がよどみなくできるようになった。これもまた驚くべき改善効果であった。
- 東洋医学では頭のもやもやは血の栄養作用の低下でおこる場合があるといわれている。すなわち血虚証である。血虚証の代表処方は四物湯で、血府逐瘀湯は四物湯と桃仁紅花という駆瘀血薬を合わせた桃紅四物湯が処方の基本骨格となっている。さらに駆瘀血の牡丹皮と破血の水蛭を加えたことで陳旧性の瘀血を取り除く、補血活血の力強い処方となっており、この組み合わせが認知機能の改善に大いに貢献したのだと感じている。



薬 まとめ

- 皮膚の苔癬化、色素沈着の著しいアトピー性皮膚炎の症例に血府逐瘀湯加水蛭加減を用いて著効した症例を経験した
- 二次的な効果として、会話がスムーズになり、ひとつの考えに執着する傾向が薄れ、認知機能が改善したかのような印象をもった。また日光過敏症が改善した



- 血府逐瘀湯の加減としては、黄芩、牡丹皮、薏苡仁などを加味することが多く、炎症が強い場合は他の清熱解毒薬を加えた
- これらの処方に水蛭という動物性生薬を加えることで、色素沈着と苔癬化の顕著な改善をみた
- 病歴の長いアトピー性皮膚炎の中に陳旧性瘀血を伴う症例は多く、水蛭などの動物性生薬を加えることで更なる病態の改善をみる可能性があると思われた
- 認知機能の改善に対して桃紅四物湯加牡丹皮、水蛭の組み合わせによる補血活血作用が貢献したのと感じている。

